

令和3年度（2021年度）事業報告

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

令和3年度の当財団法人が実施した事業概要は下記の表のとおりである。

世界的なCOVID-19感染拡大の影響が長引き、海外に関する事業にとっては昨年度に引き続き厳しい状況となった。

主たる事業である研究助成では、通常の研究助成が85件、また多施設共同研究助成は9件の応募の中から、「研究助成」40件、「多施設共同研究助成」新規2件、継続5件と、例年並みの総数47件を助成した。「海外短期留学助成」は2件で、少しずつではあるが状況は好転しつつある。

「顕彰」は4件、全国的な規模のライブセミナーに対して行う「研究会助成」は5件の助成を実施した。

また、海外関連助成事業である「海外研究医受入助成」は4件、「海外派遣助成」は海外の学会の中止やWeb化に伴い実績ゼロとなった。

その他の費用では、選考委員会や会議体のハイブリッド化、贈呈式の中止により、費用発生が減少している。

以上、当年度も計画に基づき着実な運営を行ったものの、長引くCOVID-19の感染拡大の影響を受け、海外関連助成事業が低調に終わり、計画5,710万円に対し合計で3,505万円・予算執行率61%と大幅な未消化となった。

【内容】

提 要	金 額	備 考
1. 定款第4条(1)の事業	2,800万円	内視鏡医学研究に対する研究助成
		研究助成(A) 2件
研究助成(B) 38件		
多施設共同研究助成(新規) 2件		
多施設共同研究助成(2年次分) 2件		
		多施設共同研究助成(3年次分) 3件
	100万円	海外に短期(2-3ヶ月)で留学する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外短期留学助成 2件
2. 定款第4条(2)の事業	200万円	内視鏡医学研究に功績があった者に対する顕彰 4件
3. 定款第4条(3)の事業	150万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成(1件 30万円) 5件
4. 定款第4条(4)の事業	150万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 内視鏡医学海外研究医受入助成 4件
5. 定款第4条(5)の事業	0万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成 実績なし
6. その他	105万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
合 計	3,505万円	